

国際経済学科Ⅱ

中野 智

藤井ゼミ4年の中野 智です。就職活動や卒業論文については他の人が書いているので、私はゼミでの活動についてアドバイスを贈ろうと思います。

藤井ゼミは他のゼミに比べて厳しいゼミだとは思いますが、絶対に真面目に取り組んだ方がいいです。私は2年の頃から藤井ゼミに入ったのですが、藤井ゼミで色々な経験をして、大きく人間的に成長出来ました。

具体的には合同討論を通じて得られた経験により、成長出来ました。討論をする為の資料を集める事や、実際の討論に備えて質疑応答の展開を考える事など、非常に難しい作業ばかりでしたがこれらの作業によって「自分の頭で物事を考える力」が養われました。

また、課題が難しく投げ出したくなっても、諦めずに先生に聞きに行けば必ず適切なアドバイスをくれます。藤井先生は普段は厳しく、近寄りたがたい雰囲気があるかもしれませんが根っこの部分は本当に優しい先生です。課題で困った時や悩んだ時でも相談をすれば誠意をもって全力で応えてくれます。ですから、多少課題が難しく辛くなっても諦めずに最後までやってみてください。

ゼミのメンバーというのは一緒に作業したり接したりする時間が多い為、大学生活の中で結構大きな存在になります。4年間を通じてずっと接する友達というのは意外と少ないもので、4年生になると周りが履修しているのはゼミだけという状況になります。そうなった時にゼミのメンバーとの繋がりとというのは非常に大切になってきます。夏合宿や飲み会等、思い出を作る機会はたくさんあるので、是非ゼミのメンバーと仲良くなってたくさん楽しい思い出を作ってください。

何だかあまりアドバイスが出来た気はしませんが、ゼミに本気で取り組めば大学生活は充実したものになるという事だけでも伝わればと思います。

森川 直也

どうも、藤井ゼミ4年の森川直也です。後輩へのアドバイスと言う事で、自分がそんな事言える立場ではありませんが、多少なりとも思った事を伝えようと思います。

i.就職活動

年も明けこの時期、段々と就職活動が本格的になってくる頃かと思います。周りも動きはじめ、焦りも出てくるかもしれません。ただ一つ言える事は就活では自分の根幹は大事にしないといけないということです。「こんな事がしたい」という事が見つかれば、おのずと行きたい会社も見つかると思います。それを知るために自分とはどんな人間なのかを知る自己分析をするのだと思います。ただ実際それだけでは弱いんです。会社側からしたら「別にそれは他の会社でも出来るよね？だったら他でいいよね。」となってしまうのです。そこでまた企業研究が必要になってくるのだと思います。

- ① その企業のこんな点が私自身とマッチしている。
- ② そこで仕事する。
- ③ その結果、×××の成果をだせる。

うまく言えませんがこんな感じで構成出来ると自分の時は案外上手くいきました。

こんな事を言っていますが、私自身 30 社以上も落ちました。内定自体も多く取れた人間でもありません。これから就活していくみなさんも数々の企業を受けるとは思いますが受ける企業全て受かる人なんていう人はほぼ皆無だと思います。時には第一志望に落ちてしまい心にポッカリ穴があく事もあるかもしれません。ただ、そこで諦めずに続けていけばきっと自分にあった会社は見つかると思います。

ii. 学生生活

おそらくこの1年はあっという間だと思います。4年にもなると授業の数も今までよりずっと減り学校に行く機会もかなり減ると思います。私自身、友達に会うのはゼミだけという事もしばしばありました。だからこそゼミはものすごく重要になってくると思います。孤独は寂しいですからね(笑)。4年になるとほぼ自分との戦いになります。今までのグループでの協力とは全く別になってきます。これからどんな事があってもゼミには残った方がいいです。

最後に少し脱線しますが、4年になると一番自由な時間が出来ると思います。こんな事言ったら、先生には怒られるかもしれませんがたくさん遊ぶ事もまた大切だと思います。まだ遊び足りない人間がここにいますんで(笑)。最後の1年をおおいに楽しんで下さい！

大庭 慎平

就活についてですが、現在の2・3年生は私達の学年とは違って多少は苦戦するかもしれませんが、事前に対策をしておけば、どんな状況でも内定をもらうことは可能だと思います。現に内定をもらえる人はたくさん内定をもらっています。

エントリーシートや履歴書では、大半の人が自己アピールで早速躓くと思います。そのような人は参考書に書いてある例をベースにして、周りの友達や先輩・後輩に自分の長所などを聞いたりして、自分なりにアレンジしていくことをオススメします。書き方や内容に不安がある人は、藤井先生や就活を経験してきた先輩達に相談してみるといいですよ。

また、事前に面接において聞かれるであろう質問について対策をしたいと思います。回答内容を丸々覚えるのはあまりオススメできません。なぜなら、詰まった時点で頭が真っ白になって思い出せなくなるからです。キーワードだけを覚えていったほうが、覚える負担が少なくて済むし、微妙に質問の内容が異なっているときにも柔軟に対応できます。

面接についてですが、自分の言いたいことをうまく伝えることが得意な人はさほど苦労しないとは思いますが、面接では、自分の意見を相手にしっかりと伝え、また、論理的に話さなければなりません。初めは緊張してうまく話せないと思うので、説明会で自分から率先して手を挙げて質問をする、希望する職種でなくてもいいから早い段階で面接を行って場慣れする等、「経験」を積むことが大事だと思います。ある程度経験を積めば、不意の質問にもうまく切り返すことができるようになります。

そして、会話のテンポさえ掴むことができれば、一次であろうが最終であろうがうまく話せるようになるはずです。

同じ業種を目指している人から「〇〇の面接を通過した」などという情報を聞くと、「自分は同じ業種を目指しているのに出遅れているのでは」というような不安に駆られて焦ってしまうと思います。ですが、そこで焦って空回りをしないでください。同業種でも会社によって開始時期や進行具合が全く異なるからです。最初の頃は気になって仕方がないかもしれませんが、自分のペースさえ掴むことができればそこまで気にならなくなります。きっとその頃には自分に自信が付き、内定を得ているはずですよ。

最初は右も左もわからず戸惑うことが多いと思います。ですが、それは他の就活生も同じことです。力を入れすぎず、あくまでもマイペースでやってください！！

中野 薫

ゼミに入ってすぐくらいはエクセルの使い方がわかんなかったり、進みが早くてついていけなかったりで、つまらないなあって思うかもしれないけど、それを過ぎちゃえば藤井ゼミは楽しいと思います。他大と仲良くなれるし、やたら飲みが多いのでサークルに入っていない人は特に楽しいと思います。特にゼミ合宿はホント楽しいです。私の時は2年鴨川のセミナーハウス、3年白浜、4年伊豆でした。セミナーハウスは宿泊費も安く、目の前は海ですごくよかったです。普通にみんなと旅行に来たって感覚なのですごく楽しいと思います。全学年でリレーやバレーボールをしたりするので大学生活の思い出になると思います。授業でもワード、エクセル、パワポをある程度使えるよおにならなきゃだから、最初は苦勞するかもだけど就活には有利になります。

あと、色々な職種、業種を受けた方がイイと思います。最初、総合職狙いでも就活していくうちに考え方が変わって一般職がよくなったり、ベンチャー狙いが大企業狙いに変わったりすることもあるので、色々な会社を見て選択肢を増やしておいた方がイイと思います。就活は不合格だったり嫌な思いもいっぱいするけど、こんなに自分について考えることってこの先ないと思うので頑張ってください。

どおせゼミに入るなら楽しく過ごしたほおがイイと思うので、授業も飲みも積極的に頑張ってください。

山中 愛子

私は3年生で藤井ゼミに入りました。入った頃はわからない事ばかりでついていくのに必死でした。言われた事をただやりこなすだけで大変なゼミという印象しかありませんでした。そんな気持ちのまま初めてのゼミ合宿へ。どうなるか不安だった千葉の白浜での2泊3日は、私たちの学年の仲が深まり、とても思い出がたくさん出来ました。その後の授業も飲み会もとても楽しい事ばかりでした。そして4年生のゼミ合宿は伊豆でした。最後の合宿という事でとてもワクワクしてました。3年生がいい合宿場所を見つけてくれて嬉しかったです。オリエンテーションも飲みも今でも鮮明に覚えているくらい楽しかったです。

合宿の後はゼミでの最後の課題。卒論です。

私のテーマは「テーマパーク業界の経営戦略」でした。このテーマで卒論を書く人が多いから、ありきたりにならないよう少し珍しいデータを揃えるようにと藤井先生にアドバイスをいただきました。これはこのテーマだけでなくどのテーマでも言える事だと思います。卒論を書くにあたって、たくさんのデータと珍しい文献やデータを集める事をオススメします。

ゼミ以外の事は就活です。私は3年の1月から就活を始めました。最初から業界を絞り、その業界だけの就職を考えていました。また選考を受けると同時に自己分析を行い、自分用のノートを作成し、選考を受けていました。しかし夏前まで就職が決まらず、壁にぶち当たりました。そして就職をしないという道まで考えてしまい、友達や家族とケンカをしてしまいました。

そんな時1人の友達に言われた事があります。

「愛子が必要とする会社が絶対にあるからもう1度自己分析やってみな」

私はこの言葉に勇気づけられ、もう1度自己分析をやり直す事にしました。友達に「私の長所・短所を教えて」とメールして、ノートを作成しました。そして業界も絞らず、私がこれから関わっていきたいモノ・人を挙げ、会社選びを行いました。選考中も今までより胸をはって自分の事を伝えられた感覚がありました。その結果志望していた会社から内定をいただくことが出来ました。

なので3年生に言える事は「悩んだら悩んだ分だけ結果がついてくる」という事です。そして自分自身の事をしっかり知る事も絶対必要です。自分が働いた時の姿を頭に想像して選考を受けてみてください。きっと楽しい姿が想像出来るはずです。

私は就活もゼミもすべてを通してほんとに思い出深い2年間でした。みなさんも最後の学生生活悔いの残らないように楽しんでください。